

令和2年度入学生2年次開講

シラバス

共通科目

令和3年度開講授業科目一覧表

共通科目

こ と ば と 人 間	武 内 康 則	6P
音 楽 と は 何 か	柚 木 たまみ	8P
近 江 学 入 門	秋 山 元 秀	10P
国 際 地 理	秋 山 元 秀	12P
テ レ ビ 映 像 と 現 代 社 会	山 本 泰 弘	14P
教 育 を 考 え る	笹 倉 千佳弘	16P
心 理 学	早 川 滋 人	18P
心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア	神 村 有 紀	20P
生 活 文 化 論	森 治 子	22P
子 ど も 社 会	笹 倉 千佳弘	24P
子 ど も の 世 界	松 村 都 子	26P
現 代 の 健 康	田 中 裕 之	28P
数 の 不 思 議	久 米 央 也	30P
デ ー タ 分 析 入 門	小 山 内 幸 治	32P
英 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	篠 直 樹	34P
英 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	篠 直 樹	36P
フ ラ ン ス 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	柴 田 秀 樹	38P
フ ラ ン ス 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	柴 田 秀 樹	40P
中 国 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	李 景 芳	42P
中 国 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	李 景 芳	44P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (製 菓 ・ 製 パ ン)	山 村 聡	46P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (幼 教)	山 下 伸 一	48P
ス ポ ー ツ 実 技 (テ ニ ス)	山 中 博 史	50P
ス ポ ー ツ 実 技 (フ ィ ッ ト ネ ス)	北 尾 岳 夫	52P
ス ポ ー ツ 実 技 (バ レ ー)	山 村 聡	54P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (食 健 康)	山 岡 ひとみ 他	56P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (製 菓 ・ 製 パ ン / ラ イ フ)	山 岡 ひとみ 他	58P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (幼 教)	松 井 典 子 他	60P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (ビ ジ 前 半)	江 見 和 明 他	62P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (ビ ジ 後 半)	江 見 和 明 他	64P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ことばと人間	武内 康則(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Human and Language							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ことばに関する基礎的知識の学習を通じて、「ことば」と「人間」と「社会」との関係について理解する。							
授業の内容 私たちは「ことば」というものを普段何気なく使っているが、そこには大変面白い現象・事実がたくさん観察される。国語や英語の時間に習った「文法」とは一味違う、ことばの世界の奥深さを学んでみよう。 毎回の授業後、テーマに関連したコメントシートを提出する。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。 配付したプリントはすべてファイルにとじて、レポート執筆に備えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回提出してもらったコメントシートからピックアップしたものを、翌週の授業で紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業後に提出するコメントシート				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容からテーマをひとつ選び、レポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yasunori.takeuchi@st.sumire.ac.jp（武内）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション：ことばとは何か？	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
2 /	言語と方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
3 /	地域方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
4 /	ことばと年齢差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
5 /	ことばと性差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
6 /	ことばの機能	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
7 /	ことばの変化	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
8 /	ことばと場面・状況	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
9 /	ことばと文化・世界観	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
10 /	比喩表現・ことわざ・慣用句	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
11 /	日本語と世界の言語	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
12 /	ことばの系統と類型	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
13 /	消滅の危機に瀕したことば	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
14 /	レポート作成について	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
15 /	まとめ・レポート提出	武内	レポートの推敲	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽とは何か	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Consideration to Music							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・音楽と人間とのつながりを知り、音楽とは何かを考える。 ・音楽のルーツと歴史について知り、様々な音楽に触れる。 ・音楽の持つ「力」を学ぶ。							
授業の内容 この授業は、教員の長年にわたる音楽表現者としてのキャリア、また音楽療法士としての臨床経験を反映させた講義内容である。 音楽とは何であるか。音楽は、人間にとってなくてはならないものである。 授業では、毎回異なったテーマで音楽について知り、考えていく。目には見えない音楽というものを、実際に私たちはどのように感じているのかを改めて意識してほしい。 レポートを通して、質問や感想等を伝えてもらい、また、学生相互の意見交換もしていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	音楽経験の有無は問いません。 自分の音楽に対する知識と考えを、毎回の授業参加時のレポート等で反映してください。 そして、さらに新しい音楽についての視点を見つけてください。 google classroomを使用します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回提出してもらった小レポートの内容を受講生全体で共有できるように質問等への回答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	毎回授業の最後に小レポートを書く				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	授業最終回到提示テーマによるレポートを作成する				
	その他	10	プレゼンテーションの機会に積極的な参加を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション(授業構成と取り組み方) 「音楽とは何か」(1) 自分にとっての音楽とは、生活の中の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	30
2 /	「音楽とは何か」(2) 音楽の定義と特性、様々な捉え方	柚木	講義	講義ノート作成	60
3 /	「音楽のルーツ」	柚木	講義	講義ノート作成	45
4 /	「時代と音楽」(1) 古代、中世の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
5 /	「時代と音楽」(2) バロック、古典派の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
6 /	「時代と音楽」(3) ロマン派、そして近現代の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
7 /	「声楽と器楽」	柚木	講義	講義ノート作成	45
8 /	「音楽と舞踊」	柚木	講義	講義ノート作成	45
9 /	「音楽と劇場」	柚木	講義	講義ノート作成	45
10 /	「西洋と日本」	柚木	講義	講義ノート作成	45
11 /	「世界の様々な音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーションについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備	60
12 /	「ポピュラー音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーション レポートのテーマについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備 レポート準備	90
13 /	「音楽療法」(1) 音楽療法とは その定義について	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
14 /	「音楽療法」(2) 音楽療法の様々な在り方	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
15 /	まとめ	柚木	講義 レポート作成についての助言	講義レポート作成 レポート準備、作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
近江学入門	秋山 元秀(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・近江という土地がどのようにして生まれ、どのようにして現在の滋賀県になったかを理解し、滋賀県のことに興味をもつことができるようになる。 ・近江ではぐくまれた多様な地域文化を知り、近江独特の地域性がどのようにして作られたかを理解し、身近な地域がその中でどのような位置を占めるか説明できるようになる。							
授業の内容 近江というのが古代日本に生まれた国の一つであることから始めて、その国がどのような性格の地域であったかを述べる。そしてその中でどのような産業が発達し、どのような文化が生まれたのか、それらが現在にどのように引き継がれて滋賀県になったのかを明らかにする。授業ではできるだけ映像や地図を使い、滋賀県のことをあまり知らない人でもわかりやすいように心がける。参加者はそれぞれ滋賀県内の具体的な地域をとりあげ、その地域がどのような個性をもっているかを、様々な資料を使って調べ、それを発表する。テーマによってはグループ学習を行う。							
教科書	なし						
参考書	個々のテーマについては授業中指示するが、全体的なものとしては以下のものを推薦する 『街道をゆく』司馬遼太郎シリーズの「1湖西のみち」「24近江散歩」(朝日文庫) 価格(本体600円～800円) 『近江山河抄』白洲正子(講談社文芸文庫) 価格(本体1100円)						
担当者からのメッセージ	毎回出席して授業に積極的に参加することが評価のポイントとして重要である。毎回の授業に際しては、授業内容や関連するテーマについてミニレポートを書かせる。それにまじめに取り組むことが大切である。またテーマをめぐってディスカッションやグループ学習をしてもらうが、この場合も積極的な発言をポイントとする。テーマに応じて実際に現地に出かけてフィールドワークを行なうためのガイダンスを行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ミニレポートに寄せられた質問や意見は次の時間に紹介する。長文のレポートは添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に対する積極的な態度を発言や討論の様子から評価する				
	授業内試験	40	授業中のミニテストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	総合的な問題の理解度をチェックする				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 事前にメールで要件と希望時間帯を知らせること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オウミ(近江・淡海) とはどんな意味? シガ(滋賀・志賀) とは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
2 /	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
3 /	近江の特徴はどんなところだろうか? それを考えるための材料は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
4 /	近江の文化というと何がある? たとえば芸能・お祭りなど	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
5 /	近江の産業というと何がある? たとえばお米・魚など	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
6 /	「ふなずし」 食べたことがありますか? 「ふなずし」 ってどんな寿司?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
7 /	近江というと何をイメージする? なんでもあげてみて?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
8 /	近江商人って何? 聞いたことがありますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+グループ学習	授業で何が理解できたか振り返ること	90
9 /	滋賀県にはどんな町がある? 知っている町をあげてみて	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
10 /	まず大津 大津はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
11 /	ひこにゃんは知ってますか? ひこにゃんのいる町彦根はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
12 /	大津・彦根以外に知っている町は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
13 /	滋賀県で観光で有名なところは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
14 /	滋賀県を案内するとしたらどこを推薦しますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
15 /	みんなの滋賀県おすすめは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
国際地理	秋山 元秀(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
International Geography							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・世界各地がどのような特徴をもち、それがどのように生まれてきたのかを、自然、歴史、民族、文化など、多様な側面から理解できるようにする。 ・現代世界の基本的な大地域区分とされるヨーロッパやアジア、アフリカなどが、どのようにして成立したのか、世界の文明圏の構造とあわせて理解できるようにする。 ・このような現代世界のなかで日本がどのような位置にあるか、共通するところと異なるところを分析し、一つの地域としての日本のありかたを考えられるようにする。							
授業の内容 最初に世界を地理的に見る視点について述べ、それを踏まえて世界各地がどのような特色をもっているか、とくに一定の範囲をもつ地域性が、どのような歴史的背景や文化的特色によって形成されているのかを述べる。個々の地域について述べる際には比較するという方法を重視する。またその地域が日本とどのようにかわり、これからどういう関係ができればよいかを考える。 あわせて現代世界がかかえる地域格差の問題や地域間・国家間の紛争などの問題の背景にある地理的要因についても触れていきたい。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。							
教科書	なし						
参考書	講義の中で各テーマごとに参考文献を紹介する 受講時にはどのようなものでもよいから世界地図（例えば中学の地理分野の地図帳）をもっていることが望ましい						
担当者からのメッセージ	基礎的な知識としては、高等学校で地理を履修していなくても、中学での社会科地理分野程度の学習で十分である。日常的に政治・経済に限らず、文化でもスポーツでも、現代世界で起こっている様々な出来事に関心をもってほしい。とくに新聞の国際欄、テレビやネットの国際ニュースに目を通すような習慣をつけてほしい。受講態度は講義中での発問に対する回答や、質問による積極性を評価する。毎回授業の最後に小テストを実施し、講義への理解度や意欲を見るようにする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回実施する小テストの結果や質問を次回に材料として取り上げ前回の講義を補う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中の積極的な発言や討論に対する態度を評価する				
	授業内試験	40	小テストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	全体を通じての理解度と課題への取り組み方を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 メールで事前に予約すること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	世界地図を眺めて：なぜ国際地理を学ぶのか	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
2 /	世界の東西南北：地域の多様性と共通性をど のように理解するか	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
3 /	アジアは一つか？：東洋と西洋という捉えか たは有効か	秋山	講義・小テストの実施 +グループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
4 /	東アジアと中華世界：中国・朝鮮・日本	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
5 /	東南アジアとインド世界：海洋アジアの交易 世界	秋山	講義・小テストの実施+新 聞調べ	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
6 /	中近東というとらえかた：文明の交流と衝突	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
7 /	ヨーロッパは一つか？：ローマ帝国からEU まで	秋山	講義・小テストの実施+ ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
8 /	地中海と北海：ヨーロッパの南北問題	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
9 /	東欧・中欧とバルカン世界：辺境地域の統合 と分断	秋山	講義・小テストの実施+ ニュースを見る	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
10 /	ロシアとシベリア：ユーラシアをまたぐ国家 形成	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
11 /	南北アメリカ・オーストラリア：移民によっ てつくられた新世界	秋山	講義・小テストの実施+グ ループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
12 /	アメリカとカナダ：現代技術社会を生みだし た開拓精神と新興国家	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
13 /	ラテンアメリカ：もうひとつのアメリカ	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
14 /	アフリカ：その問題と将来性	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
15 /	国際化とグローバル化の中の世界と 日本	秋山	講義・小テストの実施+ ディスカッション	講義全体を見直し、定期試験 の準備をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
テレビ映像と現代社会	山本 泰弘(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
TV picture in modern society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ テレビニュースや番組がどのように作られているか、ネットの情報と何が違うのかを学ぶことで、溢れる情報の中から正しい情報を見分ける目を養う。 ・ ニュース原稿や番組企画書を実際に作ることで、よりの確で効果的な情報の伝え方、プレゼンの方法を学ぶ。 ・ 放送におけるコンプライアンスを学ぶことで、社会において他人を傷つせず、自分を守る基本を理解する。							
授業の内容 放送局でニュース取材、番組制作に携わってきた教員がその経験を活かし、「情報の受け取り方、伝え方」について講義を行う。 テレビはおよそ70年に渡り、膨大な情報を人々に提供してきた。今はそこに「ネット」が加わり、社会には情報が溢れている。 授業ではテレビの変遷と社会の動きを振り返りながらインターネットとの違いを検証し、「正確な情報、誤った情報」の見極め方を学び「有益な情報」を得る目を養う。 また「ニュース原稿の書き方」や「番組企画書の作り方」を体験し、第三者に「正確に、より効果的に情報や意図を伝えるノウハウ」を習得する。 さらに「放送で人を傷つけないルール」などを参照にして実際の事例を検証し、「企業のガバナンス」「社会人としてのコンプライアンス」の基礎を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	なし						
担当者からのメッセージ	情報は人から人へ伝播するうちに変異する。現代は様々な媒体から情報が入ってくる。その中から「正しい情報」を選び取り、「正確に」人に伝えていく力を身につけて欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の過程で、実際にニュースや番組企画書を作成し提出。さらに発表してもらい、発表時に何が良くて、何を変えたらよいかの講評を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業で「気になったニュース」を披露してもらい、発表内容、態度などを評価				
	授業内試験	60	授業で課されたテーマをどのように理解し、実践したかを評価				
	定期試験						
	レポート	30	期末の最後に「何を学んだのか」をレポートで提出、授業目標到達度を評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yamahon1027@gmail.com (山本)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	自己紹介 授業予定説明	山本	講義	講義の復習	180
2 /	テレビの歴史と現状	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
3 /	テレビとネット社会	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
4 /	メディアとしてのテレビ	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
5 /	ニュースはどう作られる 課題1 「ニュース原稿作成実習」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
6 /	テレビと政治	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
7 /	災害報道の重要性 課題1 提出	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
8 /	これからのニュースの視点 課題1 フィードバック	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
9 /	テレビ番組の裏側 課題2 「グループで番組企画作成」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
10 /	ドラマ、バラエティー番組の現状	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
11 /	課題2発表(番組企画プレゼン) フィードバック	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
12 /	コロナ禍で何が変わったか レポート課題 提示	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
13 /	放送局のコンプライアンス	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
14 /	ハラスメントとは何か 小テスト「ハラスメントについて」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
15 /	まとめ レポート提出	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育を考える	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
On Education							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 日本の教育状況を理解するうえで必要となる基礎的事項を学ぶ。その際、子どもとおとなの関係という視点から、子ども社会の意味世界にふれることができるように講義する。なお教科書（『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問い直すー』井上寿美・笹倉千佳弘、明石書店）は授業内で販売する。授業では、バズ・セッションなどのアクティブラーニングの手法を取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	『わかちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美、明石書店（本体2000円+税）						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてバズ・セッションなどのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見直しを たてる	90
2 /	子どもへのまなざし(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	子どもへのまなざし(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	子どもとおとなのかかわり(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	子どもとおとなのかかわり(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	子どもの育つ場(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	子どもの育つ場(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	子ども理解について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	子ども理解について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	自己肯定感について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	自己肯定感について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	仲のよさについて考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	仲のよさについて考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心理学	早川 滋人(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Psychology							
資格等取得との関連	准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・教育心理学に関する基本的な知識を理解する。 ・学習、記憶、動機づけなどについて心理学的な理解を深める。 ・学校場面における集団の機能と学習援助について理解を深める。							
授業の内容 公認心理師として、心理学的視点から教育や心理機能について講義を行う。学習理論、言語機能、記憶、情報処理、動機づけ、集団性と学習環境など、学校場面での人の発達と学習について焦点を当てる。それにより、人がどのように学び、なにを学び成長するかを理解し、その支援ができるようになることを目指す。							
教科書	なし						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	PPTを用いて講義を行う。各自ノートを作成すること。 欠席や遅刻などについて大学のルールに従う。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の最後に「授業の振り返り（感想や質問）」の提出を求める。質問については必要に応じて、次回授業にて回答する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業の振り返りを確認する				
	授業内試験						
	定期試験	70	授業の内容全般について理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教師で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shayakawa@sumire.ac.jp（早川）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 学習とは(1) 勉強との違い、人が学ぶ理由	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
2 /	学習とは(2) 刷り込み、臨界期、学習の原動力	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
3 /	学習と言語 言語の獲得、言語と概念、言語の3つの機能	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
4 /	学習と記憶 記憶の機序、記憶の脳機能、記憶と情動、 特殊な記憶	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
5 /	情報処理と注意機能 入力と出力、注意の選択性と拡散性、知覚、 認知、意志決定	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
6 /	学習理論(1) 条件付け学習	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
7 /	学習理論(2) 観察学習、自己学習、試行錯誤学習	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
8 /	認知機能の発達 ピアジェの発達理論	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
9 /	動機づけ 内発的動機づけと外発的動機づけ、メタ認知、 学習性無力感	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
10 /	バンデューラの自己効力感 「ボボ人形実験」、自己効力感の測定、自己 効力感を高める4つの要素	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
11 /	学習の個人差 性格と学習 (BigFive理論)、学習困難… 発達障害、学習支援 特別支援教育	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
12 /	認知カウンセリングによる学習支援 認知カウンセリングとは、6つの技法	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
13 /	学校の集団性 集団の定義、凝集性と仲間外れ、学校にある 様々な集団と帰属性	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
14 /	学校の集団性 集団の定義、凝集性と仲間外れ、学校にある 様々な集団と帰属性	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
15 /	総括 振り返りとまとめ	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心と身体のヘルスケア	神村 有紀(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Healthcare of Body and Mind							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「心と身体の健康」という観点から、主に心理学、リラクゼーションやストレス理論を用いて、自分自身の心身の状態を見直ことができる。 ・講義で習得したことを、実際の日常生活に応用し、自分自身の「心身の健康」について考察することができる。							
授業の内容 本講義では、主なストレス理論と心身の健康に有効なさまざまな対処法をとりあげ、講義する。一般的なストレス・マネジメント法を中心に、心身のセルフケアとして広く親しまれ、実践しやすいものを取り上げ、その背景にある人間観や健康観に留意しつつ学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この科目は講義科目ですが、一方的に聞くだけで終わらせるのではなく、実際に、日常の生活の中で、自分自身に適切なセルフケアを実践することを目標としています。 受講態度の評価は、できる限り積極的に参加し、学ぼうとする姿勢で臨まれているかをポイントとし、毎回の小レポートの内容等に基づいて判断します。また、授業内容とは無関係の私語や作業について、見受けられた場合は減点対象とするので、注意してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、共通の見解、深く考察された内容、また誤解しやすい点等を取り上げ、次回の授業の中でコメントしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業内で提出を求めるショートレポートの内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	kmyuki-a@st.ritsumei.ac.jp（神村）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	はじめに 本講義の目的と「健康」の定義について考える	神村	講義	授業ノートを見直す	30
2 /	ストレスと健康1 ストレスの定義とストレス理論の基礎知識	神村	講義	授業ノートを見直す	30
3 /	ストレスと健康2 ストレス反応のメカニズムとコーピング	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
4 /	ストレスと健康3 心身相関と自律訓練法1	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
5 /	ストレスと健康4 心身相関と自律訓練法2	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
6 /	人間関係と健康1 交流分析理論でみつめる自己の人間関係	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
7 /	人間関係と健康2 アサーション・トレーニングと自己のコミュニ ケーションスタイル	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
8 /	心身の健康とボディワーク1 ヨーガの歴史と健康観	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
9 /	心身の健康とボディワーク2 ヨーガ実践の基礎知識とセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
10 /	東洋の健康文化と心身の健康 東洋医学的健康観とストレス	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
11 /	アロマセラピーと心身の健康1 ハーブ、アロマセラピーの基礎知識	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
12 /	アロマセラピーと心身の健康2 ハーブ、アロマセラピーと心身のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
13 /	アロマセラピーと心身の健康3 バッチフラワーレメディと感情のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
14 /	「内なる子ども」と心身の健康	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
15 /	「健康」について再考する	神村	講義とレポート	授業ノートを見直す	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化論	森 治子(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	
							実務経験
Cultural Studies of Living							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・講義で紹介する様々な生活文化を通して、日本文化の特徴や特質について理解を深め、他国の文化についても関心をもつことができるようになる。 ・社会と文化と人びとの暮らしとの関係性を理解し、ひとりひとりが自分自身のライフスタイルについて考えることができるようになる。 ・日本の文化やライフスタイルについて、自分の言葉で説明し、表現できる力を身につける。							
授業の内容 生活文化とは人が生活していくための技術や手段である。この授業では日本人が日常生活のなかでどのような行動や考え方をしてきたか、そのことが生活にどのように反映されてきたかということ、衣食住や遊びに関する文化から考察する。また、生活のなかで継承されてきた様々な技術や生活道具をとりあげることによって、文化の多様性について検討する。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する。						
担当者からのメッセージ	教科書は使用しないので、教材プリントや資料を配付する。 講義内容の理解を深めるために、昔の映画やドラマ、ドキュメンタリー作品等を鑑賞することがあるので、私語は慎むこと。 疑問に感じたことやわからないことがあれば、積極的に質問をしたり、自分から調べる習慣を身につけてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時に提出する小課題や感想文は翌週の授業でまとめて講評し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業時に提出する小課題やコメントペーパー				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容の理解度と到達目標の達成度を総合的に評価する				
	その他	20	復習を兼ねた課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mori916hrk@gmail.com（森）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生活文化を学ぶための方法について	森	講義	講義内容の復習	90
2 /	衣生活に関する文化1 和装と洋装(1) 古代～近世	森	講義	講義内容の復習	90
3 /	衣生活に関する文化2 和装と洋装(2) 明治・大正・昭和	森	講義	講義内容の復習	90
4 /	衣生活に関する文化3 日本の色彩と化粧	森	講義	講義内容の復習	90
5 /	住まいに関する生活文化1 日本の住まいとくらしのスタイル(1) 住まいの変遷	森	講義	講義内容の復習	90
6 /	住まいに関する文化2 日本の住まいとくらしのスタイル(2) ライフスタイルと間取り	森	講義	講義内容の復習	90
7 /	住まいに関する文化3 日本の住まいとくらしのスタイル(3) ライフステージと住まい	森	講義	講義内容の復習	90
8 /	食に関する文化1 食の起源	森	講義	講義内容の復習	90
9 /	食に関する文化2 和食と洋食	森	講義	講義内容の復習	90
10 /	食に関する文化3 伝統行事と行事食	森	講義	講義内容の復習	90
11 /	食に関する文化4 喫茶と菓子の文化	森	講義	講義内容の復習	90
12 /	食に関する文化5 環境問題と食生活	森	講義	講義内容の復習	90
13 /	四季の行事と遊びの文化1 春から夏の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習	90
14 /	四季の行事と遊びの文化2 秋から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習	90
15 /	まとめ	森	講義	レポートをまとめる	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
子ども社会	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Child Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子どもがおかれている社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を身につける。 ・子どもがおかれている社会を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成等をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 子どもがおかれている社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を、事例の検討をとおして学ぶ。その際、個別具体的な問題を、基本的人権の尊重と社会構造という2つの視点から読み解く。授業では、バズ・セッションなどのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れる。							
教科書	『わかちあい』の共育学 応用編 子どもと共に未来図を描こう(仮) 笹倉千佳弘・齋藤尚志・井上寿美 (明石書店) 価格(未定)						
参考書	『わかちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美 (明石書店) 2000円+税						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてバズ・セッションなどのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp (笹倉)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見直しを たてる	90
2 /	「学ぶ」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	「学ぶ」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	「働く」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	「働く」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	「理解する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	「理解する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	「保障する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	「保障する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	「自立する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	「自立する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	「支援する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	「支援する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの世界	松村 都子(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・授業を通して、子どもの世界について考え、関心をもって授業に参加することができる。 ・子ども時代を想起しながら、子どもの育ちについて考えるようになり、子どもに関わる大人の存在について自分なりの考えをもつことができる。							
授業の内容 幼児教育・保育現場・行政での経験を踏まえ、講義・演習を行う。 自分の子ども時代を思い出したり子どもの遊びや暮らしについて考えたりしながら、子どもの世界について学ぶ。子どもの遊びや暮らしの場面を取り上げ、子どもがどんな経験をし、何を学んでいるのかを理解を深めながら、子どもに関わる一人の大人としての自分を見つめていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	子どもの遊びや暮らしをじっくり見てみると、子どもの世界のおもしろさに気づき、さらに“育つこと”が愛おしく思えるようになります。また、改めて自分について考えることにつながります。 受講態度については、授業に積極的に参加し、真面目に遊び、考えることができているかを評価します。授業の終わりには、自分なりの考えをまとめる小レポートを実施します。 授業によって持ち物等必要な時は随時お知らせします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	小レポートは次週に返却する。また、必要に応じ授業内で小レポートの内容を口頭でフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的に授業に参加していることを評価する				
	授業内試験	30	自分なりの考えを論じているかを評価する				
	定期試験						
	レポート	30	授業の終わりに小レポートを実施する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付けます						
担当教員E-mail	m-matumura@sumire.ac.jp（松村）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	開講にあたって	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
2 /	私の子どもの頃	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
3 /	何度もくり返すということ	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
4 /	言葉をもたない頃	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
5 /	子どもとおはなし1	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
6 /	子どもとおはなし2	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
7 /	子どもとおはなし3	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
8 /	あそびうたを遊ぶ1	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
9 /	あそびうたを遊ぶ2	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
10 /	子どもと散歩	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
11 /	作ること・道具を使うこと	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
12 /	好きな場所・居心地よさ	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
13 /	きかんぼう・けんか・もめごと	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
14 /	子どもらしさと大人	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
15 /	閉講ににあたって(総括) (小テスト)	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代の健康	田中 裕之(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Nutrition and Health Sciences							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「生きている」ことの基本を理解する。 ・マスメディアにみられる「二セ科学」について理解する。 ・科学的思考方法の有効性と限界について知る。							
授業の内容 医療の経験を持つ教員が担当する。 健康に生きるための知識として、食事（栄養素）、摂取エネルギー、消費エネルギー、細胞の仕事、生体内のエネルギー通貨ATP、脳による代謝の統合について解説する。 さらに、健康や栄養に関連したマスメディアにみられる「二セ科学」について勉強する。 講義資料を配付する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。 授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した約10項目の用語から3項目ほどを選択して、レポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	田中研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	h-tanaka@sumire.ac.jp（田中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生きるためには食べなければならない	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
2 /	栄養素を分類する	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
3 /	ビタミンとは何か	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
4 /	ビタミン様作用物質	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
5 /	ビタミン発見小史1：概観	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
6 /	ビタミン発見小史2：脚気	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
7 /	ビタミン発見小史3：日本人の活躍	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
8 /	ビタミン発見小史4：ナイアシン欠乏症（ペラグラ）	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
9 /	医学領域における自己人体実験	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
10 /	アミノ酸代謝の特徴：糖質や脂質の代謝とどこがちがうのか	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
11 /	必須アミノ酸とタンパク質の栄養価（アミノ酸スコア）	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
12 /	生きるために必要なエネルギーの量	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
13 /	生き物の細胞内エネルギー通貨ATP	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
14 /	エネルギー代謝の脳（視床下部）による調節と統合	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
15 /	マスメディアに見られるニセ科学：生（なま）のつく言葉、健康食品のウソ・ホント、科学の言葉で人をだます	田中	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
数の不思議	久米 央也(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Wonder of Mathematics							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。							
授業の内容 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考え、グループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	数学な苦手な人でも、あきらめず積極的に取り組みば大丈夫である。数学的に考える力をつけることは、社会で出会う様々な問題を解決するのに役に立つはずである。成績評価のうち「受講態度」については、毎回の授業での課題に積極的に取り組んでいたかを中心に評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については授業中に取り上げ説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験	40	授業内容が理解できているかについて授業の復習テストを行う				
	定期試験						
	レポート	20	授業の終わりに課題を出し、授業の理解ができていないかを評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前予約が望ましい）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 論理力 (うそつき問題) 直観力 (マッチ棒問題) 数の不思議 (答えの予言の謎)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
2 /	論理力 (川渡り問題) 数の不思議 (電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
3 /	直観力 (マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見 (十進位取り記数法の誕生)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
4 /	17列目の謎を解く 数列の不思議 (ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
5 /	142857の謎 (巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
6 /	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
7 /	平面図形の不思議 消えた1 cm ³ タングラム	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
8 /	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル (ハノイの塔) カエルの飛び越し	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
9 /	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
10 /	数と比の不思議 黄金比・白銀比	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
11 /	÷99の謎 パラドックスの不思議 アキレスと亀 小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
12 /	測定の不思議 (古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見 (地球を測定)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
13 /	塵劫記を解く 依杉算・カラス算・盗人算・入れ子算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
14 /	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
15 /	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
データ分析入門	小山内幸治(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・データ分析に必要な統計の基礎が理解できる。 ・EXCELを使って、実務データの分析ができる。							
授業の内容 データ処理に必要な統計の基礎を学び、さらにEXCELを用いて、実務データの分析を行うための手法を身につけることができる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実際のデータ処理にはEXCELを使います。この授業を受けるためには、EXCELの基礎知識を持っていることが必要です。また、ある程度算数の能力も必要となります。 この授業で取り扱った内容を理解すれば、実際のビジネス上のデータを分析することが可能になります。興味のある方は履修してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間課題が提出されます。課題は、次の時間の最初に解答します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業参加度・取り組みの態度				
	授業内試験						
	定期試験	70	コンピュータを用いたデータ分析の問題				
	レポート						
	その他	20	授業内課題				
自由記載							
オフィスアワー	小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 および授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp (小山内)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス・データ分析の目的・データの形式	小山内	講義	データの形式を復習し、入力方法を理解しておく	60
2 /	度数分布・ヒストグラム	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
3 /	平均値・中央値	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
4 /	標準偏差・分散	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
5 /	順位・偏差値・ABC分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
6 /	相関関係・回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
7 /	重回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
8 /	時系列分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
9 /	平均の差の検定・分散の差の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
10 /	独立性の検定・相関の検定・回帰の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
11 /	実務データ分析Ⅰ (平均の差の検定・分散の差の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
12 /	実務データ分析Ⅱ (相関の検定・回帰の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
13 /	実務データ分析Ⅲ (回帰分析・重回帰分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
14 /	実務データ分析Ⅳ (時系列分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
15 /	まとめと試験対策	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	これまでの内容を復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I (製菓・製パン)	篠 直樹(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。 具体的には、日常にまつわる科学について書かれた英文を読み、読解力を育むとともに、ライティングやスピーキングにも活かせる表現を身につける。 また、授業中にリスニングの演習も行う。そうすることで、総合的な英語力の底上げを図る。							
教科書	『Science Explorer—身近な科学の世界』 石井 隆之、岩田 雅彦、松村 優子、平田 千夏、山口 修、Joe Ciunci (成美堂出版) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	『ジーニアス総合英語』(中邑光男 著、大修館書店) 『英文法解説』(江川泰一郎 著、金子出版)						
担当者からのメッセージ	本授業は演習形式のため、必ず予習を欠かさないようにする。 授業態度に関しては、積極的な発言・クラスへの貢献を評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業中に実施する小テストは採点后に返却し、理解が難しかったであろうポイントを再復習する。 期末試験は授業全体の理解度を図る内容とする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中の発言・予習態度を平常点に組み入れる。				
	授業内試験	20	授業時間内に学習内容に関する小テストを数回実施する。				
	定期試験	50	学期末に授業内容全体についての理解を問う試験を実施する。				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、随時、電子メールにて質問を受け付ける						
担当教員E-mail	nshino0605@gmail.com (篠)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	導入(この授業について) 科学の話1.(生物について1) 牛は赤い色に興味しない?	篠	演習	Unit 1のReading Partを読んでくる	60
2 /	科学の話2(生物について 2) パンダの白黒は竹を食べることと関係がある?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 2を予習する	120
3 /	科学の話3(生物について 3) 霊長類のみ目が前に付いている本当の理由	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 3を予習する	120
4 /	科学の話4(生物について 4) 卵がまん丸だったら困る?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 4を予習する	120
5 /	科学の話 5(健康について 1) 目の悪さは寝て治せるか?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 5を予習する	120
6 /	科学の話 6(健康について 2) ビタミンCの取り過ぎに注意	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 6を予習する	120
7 /	科学の話 7(健康について 3) 人が甘い物を求めるのは自然なこと?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 7を予習する	120
8 /	科学の話8(健康について 4) 蜂蜜は虫歯予防になるか?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 8を予習する	120
9 /	科学の話 9(技術について 1) コンピューターを再認識する	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 9を予習する	120
10 /	科学の話 10(技術について 2) 氷を電子レンジに入れたらどうなる?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 10を予習する	120
11 /	科学の話 11(技術について 3) 量のすごさを知る	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 11を予習する	120
12 /	科学の話 12(技術について 4) 声の生体認証は安全か?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 12を予習する	120
13 /	科学の話 13(宇宙について 1)	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 13を予習する	120
14 /	科学の話 14(宇宙について 2) 星にとって1年に1回の感覚は?	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 16を予習する	120
15 /	科学の話 15(数字について) 36 は不思議な数字!	篠	演習	Summery Listeningを除く Unit 20を予習する	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ (製菓・製パン)	篠 直樹(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。 具体的には、科学の様々な話題に関する英文を読み、リーディング力を身につけると共に、英文にでてくる表現を習得し、ライティングやスピーキングの能力の向上を図る。 また、授業中に英文に関するリスニングの練習も行い、総合的な英語力を高める。							
教科書	『Science Views－最新科学を知る』 永田 博人、Bill Benfield (成美堂出版) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	『英文法解説』(江川泰一郎 著、金子出版) 『ジーニアス総合英語』(中邑光男 著、大修館書店)						
担当者からのメッセージ	前期の英語Ⅰから引き続き、本授業は演習形式のため、予習が必須である。 また、受講態度に関しては、授業内での発言やクラス全体への貢献度から判断し、成績に反映させる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	学期中に数回、授業内容に関連した小テストを行い、採点後に返却する。間違いが多かった問題に関しては再度、解説を行う。 また、学期末に行う試験は授業全体の内容を問う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業での発言やクラスへの貢献度、予習の綿密さなど総合的に判断し、成績に組み入れる。				
	授業内試験	20	学期中に数回、小テストを行う。				
	定期試験	50	学期末に授業全体の内容を問う試験を行う。				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、随時、電子メールにて質問を受け付ける						
担当教員E-mail	nshino0605@gmail.com (篠)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	導入(この授業について) Chapter 1. いのちの誕生	篠	演習	Chapter1のBASIC WORDS IN CONTEXTとREADINGを 予習しておく	60
2 /	Chapter 2. 竜絶滅の謎	篠	演習	Chapter 2を予習しておく	120
3 /	Chapter 3. 種を救いたまえ	篠	演習	Chapter 3を予習しておく	120
4 /	Chapter 4. 文明の終焉	篠	演習	Chapter 4を予習しておく	120
5 /	Chapter 6. 危険な外来種	篠	演習	Chapter 6を予習しておく	120
6 /	Chapter 8. ポチの脳は萎縮したのか?)	篠	演習	Chapter 8を予習しておく	120
7 /	Chapter 9. BSE その後	篠	演習	Chapter 9を予習しておく	120
8 /	Chapter 10. 心と取り組む	篠	演習	Chapter 10を予習しておく	120
9 /	Chapter 11. 輸血は危ない?	篠	演習	Chapter 11を予習しておく	120
10 /	Chapter 12. 感染爆発	篠	演習	Chapter 12を予習しておく	120
11 /	Chapter 16. 持続可能な成長	篠	演習	Chapter 16を予習しておく	120
12 /	Chapter 17. トウモロコシは食べなさい	篠	演習	Chapter 17を予習しておく	120
13 /	Chapter 18. 風を読む	篠	演習	Chapter 18を予習しておく	120
14 /	Chapter 19. 汚染土壌 ビフォー・アンド・ アフター	篠	演習	Chapter 19を予習しておく	120
15 /	Chapter 20. 人を創る まとめ	篠	演習	Chapter 20を予習しておく	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語 I (製菓・製パン)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
French I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を理解することができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、基礎的な文法の学習と会話練習を中軸とし、折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。 文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	8回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	アルファベット 発音の規則 あいざつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	身近なフランス語単語 0から10の数字	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	名詞の性	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	#NAME?	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	#NAME?	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	etreの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	冠詞、etreを用いた自己紹介	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習 小テスト	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	avoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	avoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	aller、venir、faireの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	aller、venir、faireを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする) 復習	60
14 /	形容詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅱ (製菓・製パン)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	実務経験
French II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を身につけることができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、初級で学んだ文法事項を基盤として、より実践的な文法の学習と会話練習を行う。折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	8回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	初級の復習 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
2 /	faireの活用、12ヶ月の呼び方、序数	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
3 /	疑問文の作り方	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
4 /	命令法	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
5 /	vouloir、pouvoir、devoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
6 /	vouloir、pouvoir、devoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
7 /	所有形容詞、指示形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
9 /	複合過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
10 /	複合過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
11 /	近接未来と近接過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
12 /	近接未来と近接過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
13 /	代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
14 /	代名詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語 I (製菓・製パン)	李 景芳(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 発音はことばの基礎です。この授業ではテキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に授業を進める。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深める。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	中国語について	李	講義	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	発音、声調、発音符号の練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第一課 本文説明 「こんにちは！」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第二課 本文説明 「これは何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第三課 本文説明 「どこへ行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第四課 本文説明 「いくつほしいですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第四課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第五課 本文説明 「何曜日、アルバイトに行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第五課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第六課 本文説明 「今日の授業は終わりましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第六課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめとテスト	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語Ⅱ (製菓・製パン)	李 景芳(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 中国語の履修者を対象に、テキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に学習を進展させていく。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深める。中国映画から学ぶ授業も計画している。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	第七課 本文説明 「ご飯を食べましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	第七課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第八課 本文説明 「富士山に登ったことがありますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第八課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第九課 本文説明 「何をしていますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第九課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第十課 本文説明 「趣味は何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第十課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第十一課 本文説明 「この靴はどうですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第十一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第十二課 本文説明 「お誕生日おめでとう」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第十二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第十三課 本文説明 「映画、もうすぐ始まります」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第十三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめ	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (製菓・製パン)	山村 聡(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識の習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養います。 資料の配付やスライド、映像を通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に取り組む姿勢や態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	p3.yamamura@st.sumire.ac.jp (山村)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	30
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (幼教)	山下 伸一(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康に関わるものとして食事・睡眠・運動についての知識を習得する。 ・健康な生涯を送るために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康に関する今日的な課題を紹介し、正しい知識を得るとともに、それを実践する態度を身につける。本授業では、身体の仕組みや働き、健康を維持・増進するための食事（栄養）・睡眠（休養）・運動（身体活動）について理解を深めるとともに、自分の生活の中に取り入れる習慣を身につける方法を考える。 毎時配付するプリントを中心に、対話形式で授業を展開し、課題の作成も評価の対象とする。							
教科書	なし						
参考書	授業内容に応じて授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	日頃から健康に関心を持ち積極的に知識の習得に努めること。(新聞やニュース、インターネットを活用した予習) 授業で使用するプリントは自分でファイリングして必要なことは書き込むようにする。 学期中に2回の課題(レポート)提出を求め、それは成績評価に含まれるものとする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業の中で解説する。 作成したレポートについては、授業内で活用する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける それ以外は、火～金曜日の16時～19時まで体育館にて質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yskcmh4123@st.sumire.ac.jp (山下)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 身体の仕組みと働き	山下	講義	事前に健康に関する話題を探しておく	60
2 /	食事と健康 1 栄養のバランス	山下	講義	自分の食生活を記録し、問題を考える	60
3 /	食事と健康 2 ダイエット	山下	講義 課題作成	1週間の自分の食事内容をまとめる	60
4 /	睡眠と健康 質の良い睡眠とは	山下	講義	自分の生活習慣を見直し規則正しい生活を考える	30
5 /	運動と健康 1 生活活動と運動	山下	講義	積極的な運動習慣(歩行・ジョギング)に取り組む	60
6 /	運動と健康 2 スポーツの実践	山下	講義 課題作成	運動習慣の継続と健康への関心を高める	90
7 /	健康日本21 将来の健康を考えて	山下	講義	最終試験に向けて授業内容の確認に取り組む	90
8 /	授業のまとめ	山下	講義 授業内最終試験	学習内容を整理し、実生活に取り入れる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(テニス)	山中 博史(専 任)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Tennis)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・テニスの基本的なルールを理解する。 ・テニスの基本的な技術を習得する。 ・テニスの基本的な戦術を理解する。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要である。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想される。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践していく。</p> <p>スポーツ実技A（テニス）では、基本的な技術練習を進めながら、最終的にはダブルスのゲームを楽しめるよう学習を進める。雨天時は体育館で授業を行うが、体育館の使用状況や人数的な条件から、テニス以外の種目となる場合もある。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行う。コートの手入れや片付けなどにも、積極的に関わられる。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは種目にふさわしいものを着用し、胸部に名前を書いたゼッケンをつけること。受講態度は、積極的に参加し、テニスを楽しんでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。 技術の課題は、サーブを10本中5本以上成功させること、二人でラリーが7本続くこととする。最終日に実技試験を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	60	サーブとグラウンドストロークの実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係種目履修上の注意 種目の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具・コートの説明 ラケットとボールに慣れる ラケットの握り方	山中	実技	実技内容の振り返り	90
3 /	フォアハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
4 /	フォアハンドストローク 投げられたボールをフォアハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
5 /	フォアハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
6 /	バックハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
7 /	バックハンドストローク 投げられたボールをバックハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
8 /	バックハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
9 /	サーブ オーバーヘッドのサーブ練習	山中	実技	実技内容の振り返り	90
10 /	サーブとレシーブ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
11 /	ボレー (フォアハンド・バックハンド)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
12 /	シングルの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
13 /	ダブルスの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
14 /	ダブルスのゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
15 /	実技試験 ・サーブ (10本中5本以上) ・グランドストロークの連続 (ペアで7回)	山中	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(フィットネス)	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Fitness)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズについて理解する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズの実践力を獲得する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズを日常生活のなかに取り込む態度を身につける。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>フィットネスは16名の上限人数を設ける。受講希望者が上限人数を超えた場合は、抽選で受講者を決定する。</p> <p>健康維持のキーワードは、体組成・心肺機能・筋力・柔軟性である。フィットネスの授業ではこれらの要素に注目し、理論的な学習も含めた実践を行う。具体的には、ストレッチング(柔軟性)・エアロビック(有酸素)・ストレングス(筋力)の3つのエクササイズを取り上げ、それぞれについての理解と実践力の獲得を目指す。理論的な講義も交えながら、Nordic Walkingや自重を利用した体幹トレーニング、またバランスボールなども利用して“からだへの気付き”をテーマに授業を行う。</p>							
教科書	なし						
参考書	『ストレッチ100の基本』 横山格郎・星川精豪 監修(柘出版社) 『ノルディックウォーキング Starting book』 伊藤義昭 監修(スキージャーナル) 『自身体幹トレ100の基本』 比嘉一雄 監修(柘出版社)						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは、担当者の指示にしたがうこと。 授業実施内容に応じて、ウォーキングに適したスニーカーや体育館用シューズが必要。 受講態度の観点として、授業への積極的参加度を設ける。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業開始時に体組成(体重と体脂肪率)を測定・記録するとともに、その日の授業内容や自分のからだへの気付きなどの内容を含めた記録カードの提出を課す。この記録カードは、担当者がコメントし次回授業開始時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎回提出する個人記録への記入状況				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業の全体を把握する	北尾	講義	授業内容全体の理解	90
2 /	体組成計のセット 体力測定(握力・閉眼片足立ち・上体起こし)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
3 /	ストレッチングEx.の基礎知識 体力測定(立位体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
4 /	エアロビックEx.の基礎知識 ベーシックストレッチング 体力測定(踏み台昇降)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
5 /	Nordic Walking (2.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
6 /	Nordic Walking (3.7km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
7 /	Nordic Walking (4.0km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
8 /	Nordic Walking (4.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
9 /	Nordic Walking (5.4km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
10 /	Nordic Walking (6.2km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
11 /	ストレンクスEx.の基礎知識 自重ストレンクスEx.	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
12 /	股関節ゆるゆるストレッチング バランスボールEx.	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
13 /	自重ストレンクスEx.(体幹)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
14 /	自重ストレンクスEx.(上肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
15 /	自重ストレンクスEx.(下肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り 授業全体の振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(バレー)	山村 聡(非常勤)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
							○
Practical Skills in Sports (Volleyball)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> バレーボールの基本的なルールを理解する。 バレーボールの基本的な技術を習得する。 バレーボールの基本的な戦術を理解する。 スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。 							
授業の内容 <p>本学バレーボール部の他、大学や実業団バレーボールチームで10年以上トレーナーを務め、平成31年度よりスポーツ実技(バレー)を担当している教員が指導する。</p> <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要です。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想されます。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践しています。</p> <p>この授業では、未経験者でもラリーが続きやすい軽量のローインパクトボールを使用し、基本技術練習、戦術的なプレーの練習、そして技術レベルに応じたゲームを楽しみながら学習します。6人制バレーボールだけにとどまらず、生涯スポーツとして盛んに取り組まれているソフトバレーボールも取り上げます。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行います。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わります。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	経験の有無にかかわらず、積極的な参加態度、準備や後片付けへの協力姿勢、個人のスキル向上への努力度、スポーツを通じたコミュニケーションスキル等の総合評価で成績がつきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	実技試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に体育館で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	p3.yamamura@st.sumire.ac.jp (山村)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点の説明 種目の説明	山村	講義	実施要項の理解	90
2 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
3 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
4 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
5 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・サーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
6 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
7 /	ソフトバレーボールゲーム ・ブロックなしルールでの実践	山村	実技	実技内容振り返り	90
8 /	ソフトバレーボールゲーム ・ブロック有りルールでの実践	山村	実技	実技内容振り返り	90
9 /	バレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
10 /	バレーボール基礎技術 ・サーブ ・レシーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
11 /	バレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
12 /	バレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
13 /	バレーボールゲーム ・ポジション固定	山村	実技	実技内容振り返り	90
14 /	ふりかえり 実技試験	山村	実技試験	実技の習得	90
15 /	バレーボールゲーム ・ローテーション制	山村	実技	実技内容振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (食健康)	山岡ひとみ(専任) 他	2年次	後期	1	演習	食健康/必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んださまざまな知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」は、それをもとにさらに実際のライフプランニングを考える機会とする。最終回はまとめとし、課題をグループで討議し、解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	山岡 他	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	山岡 外部講師	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	山岡 他	グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (製菓・製パン／ライフ)	山岡ひとみ(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	製菓・製パン／必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んださまざまな知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」は、それをもとにさらに実際のライフプランニングを考える機会とする。最終回はまとめとし、課題をグループで討議し、解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	山岡 他	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	山岡 外部講師	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	山岡 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	山岡 他	グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (幼教)	松井 典子(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際のライフプランニングを考える情報や機会を提供する。 また、学習テーマに沿った内容をグループで討論する時間を設ける。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。受講態度は、「マイキャリアファイル」の充実度を目安とする。 したがって、毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	「マイキャリアファイル」については毎回感想を記入しクラス担当教員に提出する。感想に対して担当教員がコメントや検印を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の中で課題への積極的、意欲的取り組み等、受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリアレビュー	松井 他	自らのキャリア形成を見据えた演習	配付資料を読み返す	30
2 /	通信(手紙・メール・ファックス)のマナー	松井 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー	松井 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	30
4 /	働くときの権利—社会人デビューを前に	松井 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	30
5 /	新聞を読みこなそう(1) 新聞の構成を知る	松井 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	60
6 /	生活とリスク管理	松井 他 外部講師	講義	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう(2) 社説などを読みこなす	松井 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	60
8 /	授業のまとめ	松井 他	試験	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (ビジ前半)	江見 和明(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連	情報処理士資格の必修						
授業の到達目標 ・就職活動の目的を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
授業の内容 1年次の「キャリア基礎演習」で学んだことを受けて、本講義では、さらに実際に社会人として組織で働くための心構えや考え方を身に付けることを目的とする。 本学の卒業生や、企業担当者を招いて、いま企業でどのような人材が必要とされているのかを考える機会にする。 授業ではgoogleclassroomを使用する。毎回の授業の感想や課題はclassroom経由で提出してもらう。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本講義では、実際に企業で働いている方に、キャリア形成について講演してもらったり、企業担当者の方に、いま必要とされている人材について講演していただいたりします。 社会人として働くうえで有意義なお話が聞けると思うので、積極的に参加してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出されたレポートにはコメントを記入し、テストは採点したうえで返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	毎回の授業の感想文、レポート課題を元に評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	google classroomで質問を受け付ける。必要に応じて対面で質問に回答する。						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	認知症サポーター養成講座	外部講師 江見	演習	学んだ内容を整理する	90
2 /	先輩から学ぶ	外部講師 小山内	演習	学んだ内容を整理する	90
3 /	企業が求める人材とは	外部講師 伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	人生100年時代のキャリア形成	外部講師 中村	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	就職試験対策Ⅰ 出題の傾向を知る 数学 国語 時事問題	伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	就職試験対策Ⅱ 数学 国語 時事問題	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	就職試験対策Ⅲ 確認テスト	小山内	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	生活設計とリスク管理生	外部講師 江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (ビジ後半)	江見 和明(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連	情報処理士資格の必修						
授業の到達目標 ・就職活動の目的を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
授業の内容 1年次の「キャリア基礎演習」で学んだことを受けて、本講義では、さらに実際に社会人として組織で働くための心構えや考え方を身に付けることを目的とする。 本学の卒業生や、企業担当者を招いて、いま企業でどのような人材が必要とされているのかを考える機会にする。 授業ではgoogleclassroomを使用する。毎回の授業の感想や課題はclassroom経由で提出してもらう。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、1年次開講の「キャリア基礎演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出されたレポートにはコメントを記入し、テストは採点したうえで返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	毎回の授業の感想文、レポート課題を元に評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	google classroomで質問を受け付ける 必要に応じて対面で質問に解答する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	認知症サポーター養成講座	外部講師 若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
2 /	先輩から学ぶ	外部講師 山中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	企業が求める人材とは	外部講師 田中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	人生100年時代のキャリア形成	外部講師 江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	就職試験対策Ⅰ 出題の傾向を知る 数学 国語 時事問題	小山内	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	就職試験対策Ⅱ 数学 国語 時事問題	中村	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	就職試験対策Ⅲ 確認テスト	田中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	生活設計とリスク管理生	外部講師 山中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					